





## ディスカッション

講演に引き続いて、製薬協国際委員会 井上委員をコーディネーターに招き、3名の演者とのディスカッションが行われました。偽造医薬品になりやすい薬剤・製品領域、厚生労働省が国民に訴求していくポイント、一般生活者向けアドバイスについて議論が交わされ、最後に、演者からのワンメッセージということで、次のフレーズで締められました。

「偽造医薬品はあなたのそばにある(木村氏)」、「一人ひとりがこの問題を共有し、一人ひとりが主体性をもって取り組める状況づくりが必要(稲川氏)」、「日本だけ大丈夫というのは過去形。企業はグローバルで考えないといけない。対岸の火事ではない(猪狩氏)」。



## 終わりに

製薬協広報委員会 河村副委員長より、講演者ならびに参加者へ謝辞を述べるとともに、これからも、広報委員会の活動を通して、取材活動の一助となる情報提供を行っていきたいとの挨拶があり、フォーラムは幕を閉じました。

(広報委員会 コミュニケーション推進部会 中野 晴之)